完全対策講座 地理

このPDFは、製品版の冒頭5ページを抜粋した
無料の試し読みサンプルです。目次・本文の書き方・
問題の出し方を確認してから、購入をご検討ください。

購入先

・黒田塾 教材プラン（科目別・セット価格、LINEで注文）
https://kurodaschool.jp/materials/
・BOOTHショップ「東大黒田塾」（ダウンロード販売）
https://kurodajuku.booth.pm/
・科目選びの相談（無料）
https://kurodaschool.jp/contact/

※ サンプルは製品版の一部です。収録範囲・分量の全体は
各販売ページでご確認ください。
※ 本サンプルは個人の学習用です。第三者への配布・転載・
転売・共有は禁止します。
※ 購入や読了による合格・得点を保証するものではありません。

HIGH SCHOOL / GEOGRAPHY

高校地理

なぜからつながる構造化テキスト

地理総合・地理探究

第6版｜2026年10月30日｜XeLaTeX組版

全52講。原因から結果までをたどる本文、各講の番号付き穴埋め、基本から資料判断・比較・論述へ進む演習を一冊にまとめました。

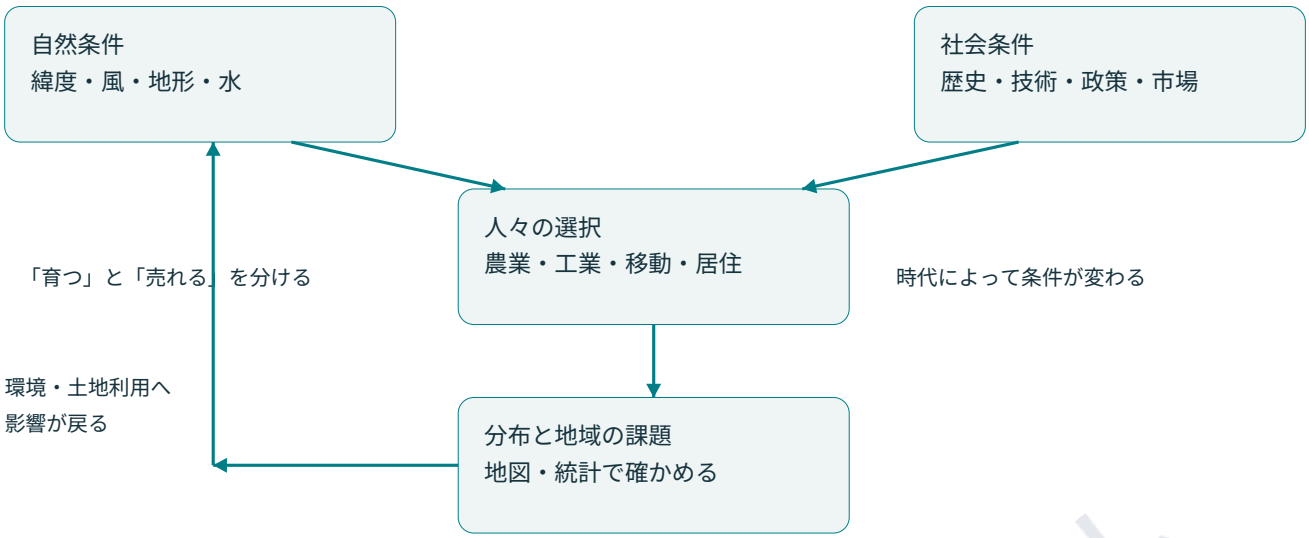
風がわかると、雨がわかる。雨と土地がわかると、農業がわかる。そこへ交通、市場、歴史、人の移動を重ねると、地域の姿を説明できるようになります。

本書は「地理総合・地理探究」の系統地理・地誌・地域調査を扱います。気候・産業・人口などの基本を、初めて見る地図や資料の説明に使う教材です。気象の運動方程式、経済モデルの数式による導出、大学の統計解析は扱いません。計算は、本文で説明した割合・単位換算・収支などを使います。

試し読みサンプル

本文・模式図・演習は独自作成。数値の自作例は実測統計と区別して表示。地図基図：Natural Earth。

この本の使い方



読む・思い出す・使うを、別々に確かめる

本文を読むときは、最初の問いに自分なりの予想を持ちます。読み終えたら、原因・途中の仕組み・結果を、本を見ずに説明してください。穴埋めでは下段の解答を紙で隠し、番号に入る語を思い出します。答え合わせの後、空欄を含む文全体をもう一度説明します。

演習は直下の解説を隠して解きます。正解だけでなく、どの資料を使い、どの知識で結び、どこまで言えるかを確かめてください。解説の言い回しを丸ごと暗記するより、数値・地域・条件を変えても同じ仕組みで説明できることを目指します。

一つの正解を、三段階で確認する

段階	自分で行うこと
用語	番号の空欄を埋め、その語を一文で説明する。
仕組み	原因と結果の間にある過程を省かず話す。
応用	初見の表・図・比較問題を、根拠を示して解く。

復習間隔の一例：学習当日→翌日→3日後→1週間後。これは固定の最適日程ではなく、間違えた内容に応じて調整する目安です。穴埋めが埋まることと、初見問題が解けることは別に確認します。

試し読みサンプル

学び切るための到達確認

次へ進む基準を、実際にできる行動で確かめる

一周目は各講の問いへ一文で答え、穴埋めを確認します。二周目は演習を解き、間違いを「用語」「仕組み」「資料の読み方」「計算」「答案の条件」に分けます。三周目は解説を隠して初見条件の問題と総仕上げに取り組み、理由を自分の言葉で再現します。日数や周回数を満たすことより、できない箇所を特定して戻ることを優先してください。

確かめる力	通過の目安（本書の学習用）
知識	穴埋めの語を思い出し、その文の意味も説明できる。
資料	図の軸・単位・凡例を自分で読み、判断の根拠を指せる。
論述	原因と結果の間を省かず、指定条件・字数内で書ける。
定着	時間を空け、解説を見ずに同じ仕組みを使える。

本書は地理総合・地理探究の主要領域を対応表に沿って扱い、高校の基本から資料読解・比較・論述へ進む構成です。一冊を読むだけで到達度は決まりません。総仕上げの後は、志望校が公開する過去問を時間内に解き、設問形式と説明の過不足を確かめます。必要な知識は該当講へ戻して補います。

試し読みサンプル

目次　1

講	問いから学ぶ内容	頁
01	地図は、世界をどう切り取るのか	6
02	暑さと季節は、太陽から始まる	15
03	雨は、空気が上がるところに集まる	20
04	気圧帯から、日々の風と雨までつなぐ	26
05	雨の多い季節は、なぜ動くのか	31
06	気候区分は、理由を圧縮した名前	36
07	気候区分を、数値で最後まで判定する	44
08	山と地震は、動く地球の表れ	49
09	大地形は、地球の長い履歴を残す	56
10	川は、粒の大きさで土地をつくり分ける	61
11	海岸と谷は、過去の変化を残している	66
12	小地形を、削る・運ぶ・残るで見分ける	73
13	植物と土壌から、農業の条件へ	79
14	農業は「育つ」と「売れる」で決まる	87
15	農業の型を、土地・労働・水で整理する	95
16	農産物の分布を、条件と用途で覚える	100
17	海と森林は、再生の速さまで考えて使う	106
18	資源は、ある場所と使う場所が違う	111
19	工場は、いちばん安い土地に集まるのか	116
20	工業地域と資源を、工程でつなぐ	121
21	貿易は、遠い地域を一つの生産工程にする	126
22	交通は、距離を時間と費用へ変える	134
23	情報通信とサービス業は、場所をどう変えるか	139
24	観光は、人の移動と地域の生活をつなぐ	144
25	人口は、増減の内訳を見る	149
26	人口移動は、年齢構成と地域を同時に変える	156

試し読みサンプル

目次　2

講	問いから学ぶ内容	頁
27	人口と経済の指標は、分母で意味が変わる	161
28	都市は、集まる利益と混雑の間で育つ	166
29	都市と村落の形には、暮らし方が残る	174
30	文化と国境は、自然だけでは説明できない	179
31	言語・宗教・国家を、同じ地図に押し込めない	184
32	環境問題は、物質と利益の流れで考える	189
33	地球的課題は、誰の選択かまで考える	196
34	防災は、地図を重ねると具体的になる	202
35	災害は、現象・地形・暮らしを重ねて考える	209
36	等高線から、見えない斜面を復元する	214
37	資料の数字を、地理の説明に変える	222
38	地域区分は、問いに合わせて境界を引く	227
39	東アジアは、海への近さと歴史で分かれる	232
40	東南アジアは、川と海の両方でつながる	239
41	南アジアは、雨季と人口の大きさから読む	244
42	西アジアは、水と資源の位置を分ける	249
43	中央アジアとロシアは、広さの費用を読む	256
44	ヨーロッパは、海と近さが地域を結ぶ	261
45	アフリカは、気候の帯と歴史を重ねる	267
46	北アメリカは、広い土地を交通が市場にする	274
47	南アメリカは、東西で水の通り道が違う	279
48	オセアニアは、乾燥した大陸と海の島々を分ける	284
49	日本は、山地と海の間で暮らしを組み立てる	289
50	日本の地域を、共通の物差しで比較する	294
51	難関大の論述は、知識の接続を見せる	299
52	複数の資料から、地域の未来を考える	306

付録：補足カード／図表演習／雨温図演習／位置確認／総合演習／総仕上げ20問／学習範囲の確認／用語から戻る／出典

試し読みサンプル